

学校名 深谷市立幡羅^{はたら}小学校
所在地 埼玉県深谷市東方町3-25-1
電話 048-571-0517

1. 本校の概要

本校は、深谷市の東に位置し、昔ながらの田園地域の面影はあるが新興の住宅地域が急速に広がっている。

児童は明るく元気に活動しており、教育に対する保護者・地域の期待や関心も非常に強い。豊かな環境を生かし、草花を育てる体験や、IT化に基づく読書活動を推進している。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校の実践の特色

本校では「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館」を目標とし、平成10年度より読書活動の推進に努めてきた。「読書の習慣化」を目指し、教師や家庭の支援・地域の協力を受けながら4つの読書活動を推進している。

「読書100冊運動」の展開

(児童の読書意欲を高める)

・朝の10分間読書

月・木曜日の朝自習の時間(10分間)を「読書タイム」とし、全校一斉に読書に取り組んでいる。木曜日は読み聞かせ

・年間3回の読書月間

6月：あじさい読書月間(本の紹介を書く)

10月：青空読書月間(校内読書感想文制作会)

2月：北風読書月間(しおりの作成)

あじさい読書
月間の図書室
廊下掲示



・図書委員の児童による読み聞かせ

幼稚園児や低学年児童を対象とする読み聞かせを行っている。

・資料の充実

科学的な情報誌・小学生新聞・郷土に関する資料がある。また学級文庫を配置し、よい本をいつでも手に取れるようにしている。

図書室の環境作り(ぬくもりのある図書室)

・3つのコーナーに分かれた図書室

第1図書室(図書閲覧・学習室)冷暖房

第2図書室(情報学習室)コピー機・ビデオ

第3図書室(絵本村)12.5畳・丸テーブル

・いつでも人のいる図書室

図書館補助員、ボランティアのおかあさんなど、いつでも人のいる図書室は温もりがあり、子どもたちは自然に図書室に足を運ぶようになった。

図書室のIT化の推進(情報センターとして)

平成15年度からコンピュータによるバーコード管理システムを活用して貸出返却などの作業を行っている。

ボランティアの活動(地域との連携)

・読み聞かせグループ「ぐるんぱ」の活動

会員18名

毎週木曜日

各学級で朝の

読み聞かせを

実施



・図書室ボランティア「G・L・F」

会員17名。主な活動は図書の整備。

・PTA図書委員会の活動

図書室の整備・環境作り・本の修理。

3. 成果と今後の課題

(1) 図書貸出数は年々増加し、憩いの場としてたくさんの児童が利用する図書室になった。

(2) バーコード管理システムを導入したことによって、貸出返却の管理、貸出履歴を利用した読書指導などもしやすくなった。

(3) 「誰もが行きたくなる図書室」になるよう努力を続けると共に、今後も地域と連携した取組を推進していきたい。